

親子で楽しく椅子作りに挑戦 平泉ライオンズクラブ親子工作教室

2月1日、平泉ライオンズクラブが主催する「親子工作教室」が長島保育所で行われました。参加者たちは、平泉ライオンズクラブメンバーの指導のもと、親子で協力しながら楽しく椅子作りに取り組んでいました。

椅子作りに挑戦した千葉母佳ちゃん(写真中央)は「金づちで叩くのが難しかったけど、お母さんと一緒に作って面白かった」と話し、世界に1つだけの自分の椅子が出来上がると満足そうな笑顔を見せていました。



小中学校へ図書カードを寄託 平泉町地域婦人団体協議会

1月13日、平泉町地域婦人団体協議会(千葉照子会長)が、地元の小中学生の健やかな成長を願い、2016年に行われた創立60周年記念事業における経費の残金の一部を活用して、図書カードを町教育委員会に寄託しました。

岩淵教育長のもとを訪れた千葉会長(写真中央)らは「子どもたちの知識を深め、感性を磨くことに役立ててください」と図書カード6万円分を手渡しました。寄託された図書カードは各小中学校に届けられ、有効活用されます。



福は内、鬼は外！ 中尊寺節分会

中尊寺で2月4日、大相撲の幕内力士隠岐の海関(八角部屋)を招いて、恒例の「中尊寺節分会」が開かれました。

豆まきには隠岐の海関のほか町内外から袴に身を包んだ厄年男女、年男、年女ら96人が参加。「福は内、鬼は外」の勇ましい掛け声とともに豆がまかれると、境内に詰めかけた町民や観光客らは縁起のいい豆を拾い集めていました。

また、町内の幼稚園や保育所園児による豆まきや抽選会も行われ、にぎやかな歓声が響き渡っていました。



長寿の祝福に笑顔 瀧澤ミサさんが満100歳を迎える

1月23日、瀧澤ミサさん(16区)が満100歳の誕生日を迎えられました。自宅で家族が見守る中、青木町長から花束と記念品の贈呈を受け、長寿を祝福されました。

瀧澤さんは、規則正しく3食をしっかり食べ、風呂や身支度などできることは自分でする毎日を過ごしています。長生きの秘訣を「何事もなく暮らせるように常に穏やかな気持ちでいること」と話し、家族らのたくさんの祝福に笑顔で応じていました。

庭園文化への理解を深める 世界遺産シンポジウム

2月5日、世界遺産シンポジウム「庭園と平泉～藤原氏が求めた極楽浄土の世界～」(世界遺産連携推進実行委員会主催)が毛越寺本堂で開催されました。

庭園文化に造詣の深い福井県立大学長で造園家の進士五十八さん、国際日本文化研究センター教授の井上章一さん、毛越寺貫主の藤里明久さんの3人をパネリストに迎え、平泉の浄土庭園などについて意見を交わし、庭園文化への理解を深めていました。



地域の安心・安全を守る 平泉町交通指導隊新年初点検

町交通指導隊(千葉慶信隊長)の平成29年初点検が1月26日、役場玄関前で行われました。

初点検には隊員10人が参加。隊員は装備品を提示し、青木町長や奥野淳一関警察署長の確認を受けました。

決意表明では、千葉隊長(写真左)が「飲酒運転の撲滅、高齢者を事故から守ることを重点項目として、関係団体と連携して活動していきます」と誓い、交通安全の推進と交通事故のない町づくりに向け、気持ちを新たにしていました。



改善更生と犯罪の予防に尽力 佐々木さんが法務大臣表彰を受賞

保護司の佐々木秀圓さん(2区)が、長年にわたり罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力された功績が認められ、平成28年度法務大臣表彰を受賞されました。

佐々木さんは、僧侶としても青少年の育成などに携わり、その豊富なご経験を活かし平成8年5月に保護司として法務大臣から委嘱を受けて活動され、親身になって支援が必要な人々への社会復帰の手助けと、明るい未来を見出す道を説いてこられました。



認知症への正しい知識を学ぶ 平泉町男女共同参画講演会

平泉町男女共同参画講演会(平泉男女共同参画サポーターの会主催)が1月28日、平泉町役場で開催されました。

特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘の研修統括介護福祉士の佐藤賢司さんが「認知症の人に寄り添うために」と題して講演。佐藤さんは「認知症の人に安心感や満足感を与えるためには、相手が何を考え、どう動こうとしているのか理解しようとするのが大切」と話していました。参加者は講師の話に耳を傾け、認知症への理解を深めていました。